

P-055

当院におけるダウン症児者の
フォローアップ外来中島 美佳¹、外木 秀文²¹社会福祉法人函館厚生院函館中央病院 小児科²天使病院 臨床遺伝センター

【はじめに】

函館中央病院小児科外来には21トリソミー児者が約80人通院している。その多くは新生児期にNICUへ入院し、退院後は成長発達や合併症の経過観察を受けている。2015年から当科ではダウン症児者に特化したフォローアップ外来を継続しているが、同年代の子どもと交流したり年上の児者の体験談を聞いたりしたいという要望が聞かれ、家族会の紹介に加えて身近な仲間との交流を進めてきている。

【当事者の交流を移行期医療】

①2018年、当科のNICUでは8人の21トリソミー児が入院し家族同士が入院中から交流を持てるように声掛けした。その結果同年齢グループで第1回の交流会を院内で開催し5家族が参加した。対象児と両親・きょうだいも参加しNICUスタッフPT、臨床心理士、MSWなどが参加した。直接顔を合わせることでより親しみをもって交流できた。以降コロナ禍によりWebでの開催を3回行い、また家族どうして茶話会的な集まりも適時行われている。②就学後や卒業後にフォローアップから離れているうちに家族が想像しなかった体調不良や精神面の困りごとが生じ相談先を求める声が高まったことから専門の医師を招聘し成人ダウン症外来を開始、現在4年目となった。

【考察】

先天疾患を持つ子どもの家族は同じ立場境遇の家族と交流を持ちたいと考えている。身近な仲間と時間を共有することは重要と考えられる。NICUから始まる小さな集まりを継続しピアカウンセリングの役割が担えるようにしていきたい。

乳幼児期を過ぎ身体症状が安定するとフォローアップからフェードアウトしてしまう場合もある。その後思春期や成人を迎えた頃に体調の変化や認知機能の低下、急速退行と呼ばれる状態などが契機となり、改めて相談とフォローアップが開始されることもある。

成人期の身体疾患について内科をはじめとした専門科への移行を可能にし、ダウン症者とその家族に寄り添った地域ぐるみのフォローアップができる体制づくりの第一歩と考えられた。

P-056

思春期の健康逸脱行動に対する
家族からの誘い西田みゆき¹、齋藤 尚子²、込山 洋美^{1,3}、松田 結⁴¹順天堂大学²東京都健康長寿医療センター研究所³日本赤十字看護大学大学院⁴University of Miami, USA

【目的】

近年、国の政策として学童期・思春期から青年期に向けた保健対策、子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりを目指している。それには10代の違法薬物の使用、妊娠、性感染症、喫煙、飲酒などへの対策、つまり、健康リスク行動の回避が必要である。そこで、子どもにとって最も身近な家族からの誘いについて明らかにすることを目的とした。

【研究方法】

対象は16歳から19歳の思春期の子ども1000名とした。データ収集は調査会社に依頼し登録中の人の中から、年齢、性別、在住などの条件を指定し絞り込んだ対象者にWEBアンケートを実施した。調査は2023年6月から実施した。内容は、同年齢の人が「喫煙」「飲酒」「違法薬物」「望まない性的関係」について家族からの誘いが「1度もない」「1回はある」「2～3回はある」「4回以上10回未満程度はある」「答えたくない」のうち1つを選択してもらった。項目ごとに単純集計を行い、「大学生」と「高校生」の差、性差については各項目Pearsonのカイ2乗検定を行ない有意水準は5%とした。統計処理はSPSS ver.27を使用した。所属の倫理委員会の承認を得た。

【結果】

対象者は16～19歳の各年齢で250名、男女ともに500名ずつの協力を得た。1度も誘いを受けていないは、「喫煙」95.0%、「飲酒」73.7%、「違法薬物」95.5%「望まない性的関係」94.8%であった。家族からの誘いについては、どの項目も高校生より大学生の方が多く、望まない性的関係以外は有意に差があった（喫煙 $p<.017$ 、飲酒 $p<.004$ 、違法薬物 $p<.017$ ）。また、性差では違法薬物は有意に女子より男子の方が多く（ $p<.02$ ）、それ以外の項目は有意な差はないが女子より男子の方が多かった。

【結論】

全体的に数が少ないが、健康逸脱行動について家族からの誘いがあるという事実は明らかになった。また高校生よりも大学生の方が有意に誘われており、家族にとって健康逸脱行動は「大人への仲間入り」という文化的な背景があるのではないかと推測される。ここでの家族は「親」とは限らず「きょうだい」も含まれる可能性がある。子どもは、家族の影響を受けるので健康逸脱行動を誘うことに対して、家族を教育をする必要があることが示唆された。

（本研究はJSPS科研費No.20K10921の助成を受けたものである。）